

障害者の施設で十九人の方が亡くなられ二十六人の方が重軽傷を負いました。二十六歳の若者に何が起きたのでしょうか。薬物による精神疾患だけとは考えにくいと思います。成長期からの思想が大きく判断を分けていると思います。義堂周信禅師は空華集 丕村竹二師訳に「世の中の交友の有様を眺めると、大概軽薄な気持ちで、伴り力て交際しているのだから、丁度強風が樹梢を一わたり乱暴に吹過ぎて、そのあとが続かないようなもので、その交友もほんの一時の気紛れに過ぎないものが多く、全く他人はあてにできない」と、嘆いて見えますが、まさにこんな状態の方では無かったのかなと思っています。現在はどうも殺伐としすぎの感あり。我が子を躰と言って殺してしまう親もいます。親のエゴか子供の成長に伴う教育の失敗か親が子供に掛ける期待等色々難しさもあるのでしょうか。道徳教育の充実、心のゆとり豊かさが必要であると思っています。昔は**草木国土、悉皆成仏**といい、**森羅万象、全てに命**があり仏性を持って居るとするアニミズムの世界観がありました。自然の命に尊厳を抱いていたのです。地域の祭礼の原点は目に見えない力にすがり、その加護を受けたという気持ちの現れではないかと思えます。現代に於いても**自然との融合の中にすべての命を大切にすることの作用に力を注がねばと考えます**。現在の欠如は何なのかを知る良き機会かとも思えます。我々の一生は誕生で始まり、死して終わる訳です。即ち誕生から死に至るまでが人生ドラマということになります。**我々の生活必需品から、食生活まで、全て天地自然の恵があるからです**。

我々の生命は共生によって保たれているのです。感謝報恩

ポケモンGOが大流行し、迷惑問題も生じています。昔から色々な流行があり、思い出すと懐かしいものがあります。その時々で多少の迷惑を生じていたことでしょう。国を取り巻く環境が大きく変化しました。交通に限ってもこれほどの車社会に成るとは思っても見ませんでした。無常です。つねならむとは空海大師様のいろ色(いろは)はにほへとから始まる「ろは」歌の通りなんです。お釈迦様も入滅に際し弟子の前で最後の説法をしました。全ての物は変化し消滅してしまふ、生々流転していく中に於いて人間として生きとし生きる間は努力精進をしなければ、論されました。**我々は身・口・意の三業(三つの働き)に因って結果が生じます**。怒り狂えば地獄にいら、貪り狂えば餓鬼にいら、愚痴に狂えば畜生にいら、争いに狂えば修羅にいら、良き判断が出来れば人間となり、喜びに満たされれば天上界に入れるなり。時々行動が六道を巡るなり。混迷を深めたドタバタ都知事選挙も小池氏の圧勝で幕を閉じました。栄もあれば衰退もあり、富める者あれば貧しき者あります。今も昔も変わる事ない、これが娑婆の姿であります。「喜・憂」なれども、心を奪われる事無く、心だけは錦で飾りましょう。沢庵禅師は**心法をさとる人は、これを見る心眼とて、心にまなこあり、心の眼にて見るを観ずると申すなり」と**